

一階「世界の生活文化」

世界の生活文化 (海外民族) 地域: メキシコ

オルメカ石頭像 (レプリカ) 紀元前 13 ~ 10 世紀



モデルはどれ？

今から 3000 年ほど前に、メキシコではオルメカという文明が栄えていました。オルメカの人々は巨大な石を加工して、人間の顔にそっくりな頭だけの像を作ったことで有名です。現在、17 個の石頭像が見つっていますが、その顔はみんな違います。モデルになったのは、当時の支配者ともスポーツ選手ともいわれています。

世界の生活文化 (海外民族) 地域: 朝鮮半島

チャンスン 20 世紀初頭



村の守り神

かつて朝鮮半島では村の入口にチャンスンと呼ばれる木製の柱を立てていました。その顔を見ると、目を大きく見開いて、歯をむき出しにした怖い表情をしています。これは村に病気が災難が入ってこないように、守り神として雨の目も風の日も見張りをする役目があったからです。

世界の生活文化 (海外民族) 地域: 中国

幌子 20 世紀前半



文字を書かない看板

現在見られる看板には、多くの場合、お店の名前などの文字が書かれています。しかし、かつて中国の北京で使用されていた幌子には、文字を書かないものがありました (中国語で「幌子」)。写真は 1940 年頃に北京で使用されていた、飲食店の幌子です。一説によると、細長く切った赤い紙はラーメンを表しているそうです。

一階「世界の生活文化」

世界の生活文化 (海外民族) 地域: インドネシア

獅子の仮面 20 世紀中頃



獅子舞の親戚？

インドネシア、バリ島の仮面舞踏劇で登場する獅子の仮面「バロン・ケット」です。「あっかんべー」をしているペロには呪文が書かれています。聖なる獣であるバロンは、あらゆる災害を防ぎ、邪悪な力を追い払う能力を持つといわれていて、日本の獅子舞と関係があるともいわれています。

世界の生活文化 (海外民族) 地域: メキシコ

機織り 20 世紀後半



お母さんから娘さんへ

世界には自分たちで着る服を手作りする人々がいます。メキシコとグアテマラでは、代々受けつがれてきた技術で、その村にしかない彩りやデザインの織物が作られます。お母さんが娘さんに織り方を教えて、その子が大人になったら自分の娘に同じことを教えて、ということが何百年もくりかえされているのです。

世界の生活文化 (アイヌ民族) 地域: 推定 北海道

アイヌの人々の着物



背中の模様が素敵です！

木の皮を細かく裂いて、大変な手間と時間をかけて作った着物です。北海道のような寒い所では綿を育てることはできませんから、手に入りやすい木の皮を材料にして着物を作ることもしました。綿から作った着物が、とても貴重だなんて今ではちょっと考えにくいですね。

二階「世界の生活文化」

世界の生活文化 (日本民俗) 地域: 奈良県

箱階段 明治~昭和時代



元祖階段下収納。しかも移動可能でお部屋広々！

部屋の天井裏を物置などに利用するのに、その出入りに使うはしごの側面や下の空間を引出しや物入れにしたのが箱階段です。空間を有効に利用するために路面がせまく、急な階段になっています。人が大勢集まる時は移動させて、部屋を広く使いました。

世界の生活文化 (日本民俗) 地域: 奈良県

下雨扱き 20 世紀前半



この発明で効率アップ！作業がラクになりました

木の台に先のとがった平らな鉄の歯がたくさんついています。「たくさん」という意味で「千歯」と言います。穀物の実を穂から落とす道具で、江戸時代の大阪 (大阪) で考案されました。歯の間に稲束を通し穂先から籾を分けず。これが登場して一度にたくさん脱粒できるようになりました。

世界の生活文化 (交通文化) 地域: 神奈川県

1等片道乗車券 明治時代初期



最初の鉄道キップ

これは明治 5 年に日本で初めて鉄道が営業を始めた頃のキップです。キップとは、鉄道に乗ったり駅に入ったりする時に購入するもので、以前は自動改札機はなく、小さな厚紙に印刷されたキップを改札口で駅員が確認していました。1~3 等で色分けされ、通し番号が振られていて、何枚売れたかが分かるようになっていました。

三階「世界の考古美術」

世界の考古美術 地域: 中国・河南省

甲骨文字 殷時代



漢字の元になった古代文字

これらの亀の甲羅や動物の骨には、今から 3000 年以上前に使われた東アジアで一番古い文字が刻まれています。甲骨文字とよばれる古代文字で、一部の文字は現在の漢字の元になっています。漢字は甲骨文字から始まって、いまでも使われ続けているとても古い文字というわけですね！

世界の考古美術 地域: 中国各地

古代中国の貨幣 春秋戦国時代



お金の始まり

今よりずっと昔、とても価値のある品物をお金の代わりに使うこともあり。3000 年以上前の中国では貴重な貝殻がお金として使われていました。今でも、お金に関する漢字に貝の文字が含まれているのはこのためです (買、貸、貴、貯、購など)。他にも青銅製の円形や刀形のような色々な形のお金も使われていました。

世界の考古美術 地域: キリシヤ

金製把手付杯 紀元前 17 世紀



シュリーマンも見つけたかも？

世界的に有名な考古学者シュリーマンは小さい時に苦労しましたが、努力を重ねて成功した人です。彼はミケーネという遺跡を発掘して、先史ヨーロッパに高度な文明があったことを初めて証明しました。そのミケーネから金杯がたくさん出土しています。これも同時代のギリシヤの遺跡から出土した金杯です。